

# 創造性豊かなピアノ演奏を目指した実践研究 (2)

## — ピアノ学習導入期の指導をとおして —

A Study of Piano Performance with Creativity. (2)  
— Through the guidance on the initial stage of piano education —

小 森 光 紗  
(こども学科 非常勤講師)

**要旨** 本稿は、「創造性豊かなピアノ演奏を目指した実践研究」というテーマで筆者が行っている継続研究の一端であり、「J.ブルグミュラー作曲 25 の練習曲を題材として」の続編となるものである。

これまでの研究では、J.ブルグミュラー作曲「25 の練習曲」を題材とし、学生自ら楽譜を制作する実践を行った。学生が制作した楽譜は、それぞれがユーモアとバラエティーに富んだ作品に仕上がった。学生一人ひとりが得意な創作手法を用い、意欲的に楽譜制作に取り組むことによって、創造性や思考力を養い、ピアノに苦手意識を持った学生でも、より楽しく意欲的にピアノ演奏に取り組むことが出来た。

本研究は、ピアノ学習の導入期において実践を行い、近年の教員・保育者養成課程に入学する学生の音楽経験の多様化を調査し、ピアノ初心者の学生への指導方法を考えたものである。

【キーワード：音楽 創造力 表現力】

### I はじめに

筆者は教員・保育者養成課程において、J.ブルグミュラー作曲「25 の練習曲」を題材とした楽譜制作を「音楽Ⅲ」（2年次開講科目）で行った。実践では、J.ブルグミュラー「25 の練習曲」の中から学生が任意の楽曲を選択し、楽譜と筆記用具（カラー複色又は単色）を用いて、楽譜へ自由な思いを書き記した。学生たちは、大変意欲的な姿勢で実践に取り組み、仕上がった創作楽譜は自由な発想が盛り込まれたユーモアとバラエティーに富んだ作品となった。楽曲の流れに沿って細かくイメージを描写した楽譜や、楽曲全体の流れを大きく一つに捉えて表現した楽譜など多様性が見受けられた。完成した創作楽譜を用いたピアノの演奏は、音楽的な表現力がより豊かになった。そして、何よりも学生自身が、楽しんでピアノに向かう姿が印象的であった。

前回の実践をとおして、教員・保育者養成課程の学生たちは、豊かな創造力を持っており、様々な手法で自己の創造力を発揮する能力にも恵まれていることがわかった。学生一人ひとりの創造性や思考力を養い伸ばすことが出来たように思う。本実践の特徴として、教員が創作手法をあらかじめ

指定せず、学生一人ひとりが任意の創作手法を選択する点に注目できるであろう。学生一人ひとりが得意な創作手法を選択して楽譜に向かうため、自発的かつ自主的に取り組むことが出来るようになった。実践後の学生の感想の中には、「これからピアノが楽しくなりそう。」「もっと早い段階にこのようなことを教えてもらっていたら、ピアノを嫌いにならなかったかもしれない。」というような、学習に対する意欲的な高まりを見せる声も耳にすることが出来た。筆者は、音楽への興味・関心を高めるきっかけになったと感じられた。

これまでの実践結果をふまえ、今年度は「音楽Ⅰ」（1年次開講科目）において創作楽譜の実践を行った。近年の教員・保育者養成課程に入学する学生の音楽経験は多様化し、ピアノ初心者の学生も多く見受けられるようになっている。ピアノ演奏に対しての不安を抱えて入学してくる学生も少なくない。入学直後の段階で創作楽譜の制作実践を行い、ピアノ演奏の楽しさを体験することにより、学生の音楽全般に対する不安要素を取り除く手がかりとなるであろうと考え、継続研究を行っている。

## II 研究方法及び研究内容

本実践は「音楽Ⅰ」ピアノ個人レッスンにおいて、筆者が担当した学生を対象として行ったものである。学生どうしでの意見討論を行い、学生の考えを展開させていくことも大切であると考えた。

まず、学生一人ひとりの習熟度に合わせて選曲を行った。入学時の学生のピアノ経験値は様々であり、習熟度には大きな差異が生じた。それ故に、実践で扱った楽曲は、バイエル教則本、ブルグミュラー「25の練習曲」、ソナチネアルバムなど広範囲に渡った。この時、レベルの範囲内であれば、基本的に学生が取り組みたいという楽曲を選曲し、筆者と話し合った上で決定した。そのため、すでに演奏が仕上がった状態の楽曲を選択した学生や、これから譜読みに取りかかる段階の楽曲を選択した学生の両者が存在した。強弱記号や発想記号については、あらかじめ学生自身が調べ、わからない箇所については、教員や友人に聞くように促した。

創作楽譜を制作するにあたり、楽譜と任意のカラー筆記用具を使用した。そして、楽曲に対する自己のイメージを膨らませる。さらに、出来あがったイメージを、絵や色彩、文章などの自由な創作手法を用いて楽譜に表した。表現の手法、楽譜の創作方法などについては、学生一人ひとりが自由

な発想のもとで、得意な手法を用いて表現するように指導した。

創作楽譜の制作と併せて、「紹介シート」(資料1)を作成した。この用紙は、創作楽譜からだけでは伝わりにくいイメージ、例えば、ストーリーの詳細内容や、その楽曲に対してイメージを持った理由などを具体的に記入し、創作楽譜の補足的な資料として添付した。

出来あがった独自の制作楽譜を使用し、実際にピアノ演奏で表現をした。ここで、指導する側として楽譜に修正が必要な箇所が出てきた場合、その過程でその都度修正を加えた。

実践終了後には、「創作楽譜に関するアンケート」(資料2)によるアンケート調査を行った。

## III 研究結果

表1より学生は、ピアノの導入教材から上級レベルの曲まで、様々なイメージを持ち、そのイメージを楽譜の中に描いた。そして、創作楽譜の内容紹介として、「紹介シート」の記載内容を添付した。創作手法、作風は表2のように分類し、表1へ加えた。また、実践後に行った「創作楽譜に関するアンケート」の調査結果をまとめ、質問項目①～③は表3に挙げ、④～⑧は表1に加えた。

表1 【創作楽譜・一覧表】

創作楽譜番号	作曲者	曲番号／ 標題	創作楽譜 のテーマ	創作楽譜の内容紹介	創作手法 分類	創作楽譜に関するアンケート
1	ピアノへのアプローチ 4 Stepsより	1(a～d) 両手とも同じ指で弾こう	ドーナツとレモン	ドとレが多かったのでドーナツとレモンが浮かびました	① I	⑤常にボールペンを使用しているから ⑥早さなどが調整できました ⑧音楽は楽しくやりたいので、自分でもっと楽しめるようになりたいです
2	ピアノへのアプローチ 4 Stepsより	1(a～g) 両手とも同じ指で弾こう	現れ	初め空は雲で覆われていて、雨が降っているが次第に太陽が現れ、お花、チョウチョ、最後に虹が現れる	①⑨ II	⑤絵で描くのが苦手だったから ⑥イメージを描くことで前向きに取り組めるようになった ⑦ピアノがとても苦手だが楽しいものなんだなと思えるようになった ⑧自分だけでなく、他者の描いたイメージをみて、新たな発見が出来た

創造性豊かなピアノ演奏を目指した実践研究 (2)

3	ピアノへのアプローチ 4 Stepsより	2(a) 両手で同じ音を弾こう	原点	このメロディーを原始人から現代に照らし合わせました。1つ1つの大切な音を基本から学ぶための曲(リズム)。人間が人間になる前は何かからだったのか、それぞれ進化がある。ドレドレのように一音上がってまた下がるというのは「ひと」が歩みを進めるというイメージを持ちました。	② I	④私はピアノ初心者ということで音1つ1つゆっくり感じながら弾いていたらドレミファソをこのように人類も進化していったのかと考えた(想像できた)からです ⑤あえて色をつけずモノクロで描きました。それは、その生き物としての姿、“シルエット”を見てほしかったからです ⑥これはどういうイメージがつくかを考えながら弾くことが出来ました ⑦正直前までは何も考えずに弾いていたのに対して“音符”に気をつけて弾くので、1つ1つステップを踏むのに少し臆病になってます ⑧曲をイメージして楽譜にイラストや言葉を書くという発想が今までなかったので、先生の話聞いた時、ビックリウキウキワクワクしました。
4	バイエル	15	ピクニック	うさぎさんとくまさんが野原で仲良くピクニックをしている	① I	④ 全体的に明るくピクニックみたいな感じがしたから ⑤色鉛筆なら明るさが表現できると思ったから ⑥変化があったかは自分ではわからないけれどイメージはできました ⑦変わった!! ⑧以前にイメージを楽譜に書いた時は文だったけれど、今回、絵でイメージを表してみても文字とは違う伝わり方があった。絵でイメージを表現して楽しかった
5	バイエル	15	春風	メロディーがゆるやかな感じが春の空気に似ているなど思って春の風景を描きました。	① I	④メロディーがゆったりと伸びやかな感じがして春の風景が浮かんだから ⑤春のパステル色の感じが色鉛筆なら表せると思ったから ⑥メロディーを頭に浮かべながら弾くことができた ⑦変わりました
6	バイエル	23	ポップストリート	デコボコ道を楽しくステップすれば楽しくなるように!	④ II	④絵が苦手だけれど、楽しいイメージを描きたかったから ⑤絵が苦手だから ⑥リズムミカルに弾けるようになりました ⑦楽しく弾けば習得も早くなると思いました
7	バイエル	23	春	春みたいにはんわかした曲だと思います。	④ II	④指の動きに合わせてそれぞれの小節の雰囲気合わせた色で表してみました ⑤筆箱に入っていた限られた筆記用具の中で、出来る限り自分のイメージを表現してみました ⑥とてもイメージがしやすくなりました ⑦これからはただ弾くだけでなく、曲のイメージを自分の中でもつくり、それを意識して自分なりの表現をしたいです

8	バイエル	31	春のメロディー	私はこの曲に対して、明るく春っぽいイメージをもったので、音符に花を描きました。ドソミソは軽やかに弾いて、明るい春です。メロディーは少しだけのおんぎつな春のイメージをあてはめました。	① ②	④明るい感じで季節的に春っぽいイメージだったので、こういった絵・色にしました ⑤音符に花を描いたら明るくなったと思ったし、かわいい音表現したかったのでそうしました ⑥色をつけたりしたことにより楽しくリズムにのって弾くような感じになりました ⑦少し変わったと思います ⑧楽譜に絵を描いたり、色をつけたりするのは始めてだったので少し戸惑った部分もあったけれど、楽しくできました
9	バイエル	48	うま☆	馬がばっかばっか走っているような感じ。途中で休憩するところもある…!?	④ ②	⑤絵が苦手で、言葉も出てこなかったのでも色にしました ⑥弾きやすくなりました ⑦楽しく弾けた気がします
10	バイエル	52	うさぎちゃんの散歩	この曲はノリがよくて、うさぎがピョンピョン跳ねているイメージがあったので、うさぎにしました	① ①	④曲が弾んでいたのでも、うさぎがはねているように ⑤明るい曲だったし、色や絵で表現しなかったからです ⑥イメージが出来たので楽しく弾けた ⑦変わりました ⑧楽譜に絵を書いたりしたのは初めてだったけれど、楽しくできたので良かったです
11	バイエル	56	海☆ファ☆ソ☆ラ	「曲の紹介シート(資料1)」参照	①④⑤ ②	④音符の並びや多さを見ていて、落ち着いている所とそうでない所があったので、それは何かと考えたときに「海の魚」が浮かんだので ⑤色をつけたりしたら明るく見やすくなるので色を付けました。魚以外のものも海には居るので、カニなどを書きました ⑥色や絵を書いた所を気にしながらそのイメージを想像して描く様になりました ⑦変わりました。物語などを表していくと弾きやすくなったと思います ⑧この様に楽譜に絵などを書きこんだのは初めてだったので、この様にするのも曲のイメージが出来るので良いと思いました
12	バイエル	56	うさぎとカメのお散歩	ポカポカあたたかい日に、うさぎとカメが仲良くお散歩している感じ	① ②	④追いかけているイメージがしたから ⑥変化がありました。イメージして弾くと音がなめらかになったような気がしました。 ⑦変わりました。ただ弾くだけでなく、想像しながら弾くことが出来るようになりました

創造性豊かなピアノ演奏を目指した実践研究 (2)

13	バイエル	66	夕やけ	始め、音符の早さで色分けをして、ゆっくりなところはオレンジ、ちょっと早めのところは赤にしました。そうしたら夕やけにみえてきて、この曲にも合っていると思いました。夕やけを見ているような気持ちで落ち着くような曲だと思います。	④ II	④夕方のイメージだったから ⑥以前に演奏した時よりも楽しく弾けそうです ⑦少し変わりました ⑧楽譜にイメージをつけることを初めてやったので楽しかったです。他の曲でもイメージを考えてみようと思います
14	バイエル	78	野原と小川	曲の元気な感じと流れるように音が下りてくる様子が緑いっぱい、小動物などがいっぱいいて、川も流れていて…のようなイメージです。おだやかで幸せなイメージです	① II	④ぴよんぴよんはねたり、川が流れているみたいにさらさらしたところがあったから ⑦少し変わりました ⑧楽譜に絵を書くということが初めてだったので楽しかったです。
15	バイエル	78	春	動物たちが野原で楽しそうにダンスを踊っている	① I	④みんなで何か楽しそうにやっているような感じがしたから ⑤絵で表現したかったから ⑥絵があった方が楽しく弾けた ⑦変わりました ⑧曲にあった絵を自分で考えてピアノを弾いていきたいと思いました
16	バイエル	83	動物の追いかっこ	最初の所は右手と左手が順番に弾いているので、追いかっこというテーマにしました	②③ II	④音階が徐々に上がっていくから ⑤絵を書くのが苦手だったので言葉で書いてしまいました ⑧今までに楽譜を見て創作をしたことがなかったので、難しかったけれど楽しかったです
17	バイエル	83	お散歩ランラン	ある日お散歩に出かける。最初にカエルに出会う。次にうしさんに出会う。ヒヨコも見付ける。みんな出会って、歌いながらスキップする。今度はみんなで散歩に出かける。お花を見付ける。虫さんも見付ける。友達いっぱい楽しいなあ。夕日が沈んでおうちに帰る。ばいばいまたね。また遊ぼうね。	①⑥ ③⑨ II	④音が楽しそうだったから ⑤色を使った方がイメージしやすいと思ったから ⑥イメージしながら演奏しました ⑦ただ演奏するだけではない!

18	バイエル	83	マラソン	<p>始めは順調に走っている!! 途中、色が変わった所で疲れてたくさんぬかれてしまう。でもがんばって始めのペースで走る。もう走れないくらい疲れてしまう。でも頑張って走ってゴールできた!!</p>	<p>④⑨ II</p>	<p>④マラソンのようなイメージを持ちたかったから ⑥1つ1つイメージを持つようになりました ⑦変わりました ⑧今回の創作楽譜で、曲に対するイメージを持つようになりました</p>
19	バイエル	96	ヨチヨ赤ちゃん	<p>ハイハイが上手にできるようになった赤ちゃんが、今度は歩こうと一生懸命頑張っている様子。赤ちゃんは自分専用のイスを持っている。まず自分のイスにつかまり立ちをしてみる。手をイスから離してみたけれどおっとっと…うまく立てず、もう一度つかまってみる。そしてついにイスから手を離して自分の力で立つことが出来るようになった。そこから、お父さん、お母さんの方へ向かって、1歩、2歩…ヨチヨチと歩いていく。お父さんもお母さんも心配そうに様子を見ている。ついにしりもちをついて座ってしまった!でもめげずにもう1度つかまり立ちからヨチヨチ歩きにチャレンジ。もう一人で歩けるようになったね!!バンザイ!!</p>	<p>①④ ⑥⑧ ⑨ II</p>	<p>④曲の始まりがファソラシドラファと山になっているので、そこからヨチヨチ歩きの赤ちゃんをイメージしました。途中で曲調が変わるので、赤ちゃんの成長の様子もイメージしました ⑤絵が苦手なので、色を塗ったり、言葉で説明してみました。最後だけはとてもうれしい様子を大きく絵にしてみました ⑥ありました。曲のイメージがあると、メリハリよく弾けたり、その曲に対して愛着がわくようになりました ⑦変わりました。ただ楽譜を見て弾くのと、イメージを膨らませて弾くのとでは曲の表情が全く変わりました。気持ちを込めて弾くことで聴く人の心にも伝わるのかなと思います。⑧先日、盲目のピアニストと演奏をTVで観ました。きっといろいろな事を想像してその曲をイメージしているんだろうと思います。そして目が見えないけれどもいろいろな経験を両親がさせてくれたそうです。いろいろな経験と豊かなイメージレーションが素晴らしい演奏につながるんだと思いました。</p>
20	バイエル	97	不思議のたんけん	<p>始めのリズムがとても明るかったので、散歩をさせてみようと思った。2段目からリズムが変わらないので、子供の目線になり、「あれは何?」「これは何?」「なぜ?」というものを取り入れてみた。最後は知らないものがあるから毎日が楽しいんだというイメージ</p>	<p>①⑦ ⑧⑨ II</p>	<p>④とても明るい曲なので、空や植物などが出てきました ⑤色をつけた方がぱっと見たときにわかりやすいと思いました。また、色でどういう曲なのかイメージが付きやすいと思いました ⑥はい、弾きやすくなりました ⑦ただ演奏するだけでなく、曲ごとにイメージをしながら演奏した方が(図工などの)発想にもつながると思いました ⑧今まで、ただ単に楽譜を見て演奏していただけなので、イメージを持って弾いた方が聴く側にとっても違うのかなと思いました。「のだめカンタービレ」で空想がでてきていたので、納得して楽しんで創作する事が出来ました</p>

21	バイエル	104	晴れた日の出来事	「曲の紹介シート(資料 1-2)」参照	②⑨ II	④全体的に平和なイメージがあったのですがその中に小さなハプニングがあるような感じがして… ⑤イラストにするのが一番伝えやすい(伝わりやすい)と思ったので ⑥今までなんとなくのイメージで演奏していましたが、イメージを具体的に思い浮かべてみるようになった。楽しんで弾けるようになった ⑦自分が弾いている曲を(弾いている最中に)良く聴くようになった。耳が前よりダンボ(?)になった気がします。⑧楽譜に直接その曲のイメージとして色を塗ったり描いたりするのは初めてで思っていたよりも難しく楽しかった。他の生徒さんの作品を見て、いろいろな手法があったなあと感心してしまいました。⑦で書いたように、以前より、音をよく聴く様になった気がします。昔は「指がスムーズに動く様に」とか「間違わずに弾けるように…」という意識の方が強かったと思います。今は音がどう響いているか、なめらかに聞こえているか、など、自分の弾いている曲(音)を耳を澄まして聴くようになりました。そうしたら、ピアノ自体を楽しめるようになってきました。ピアノを10年やっていましたが、その時はそんな風に思えていませんでした。
22	バッハ	メヌエット ト長調	優しさ	優しい曲っぽいのでパステルでぬってみました。色で分けてパステルで優しさを表してみました。	④ II	④曲のメロディーが優しい感じがしたのでパステル色でぬってみました ⑤優しい感じがしたから ⑥ありませんでした ⑦変わりました ⑧曲によってイメージが違うので、曲のイメージを考えるのが楽しいです。曲によって自分の気持ちも変わっていき、いろいろな感じ方が出来るようになると思いました
23	ブルグミュラー	15 バラード	赤い糸	最初怖そうな感じだけれど、途中イメージが変わるところが楽しそうなイメージで好きです。	①④ II	④楽しい所、悲しい所があるから ⑥自分のイメージ通りに演奏しようと思いました ⑦少し変わりました ⑧初めてだったから楽しかったです
24	クレメンティー	ソナチネ Op.36-1	バレエ	初めの方は楽しんでおどっているけれど、だんだん限界になってきて少し休憩する。休んだのでまた踊り始める。まただんだん楽しくなってきた、どんどん楽しくなっておしまい。	④⑧⑨ II	④曲の始まりが飛び跳ねる感じがしたから ⑤絵を書くのが得意ではないので文で表現しました ⑥弾くのが楽しくなった ⑦少し変わりました ⑧ソナチネだけではなく、他の曲も何かイメージして弾けるようになりたいです

25	クレメンティ	ソナチネ Op.36-3	無題	この曲はスタッカートが多くてリズムカルな曲なので、虹とかを書いた。トリルは早いのでたつまきを書いた。盛り上がるの所はお花を書いた。だんだんと小さな音にするところは暗い紫にしてみた。同じフレーズで1オクターブ下がる所は緑で少し暗くした。和音で盛り上がっている所はひよこを成長させてみた。	① II	④スタッカートが多く明るい曲のように感じたから ⑤その曲のイメージを色で表したかったから ⑥イメージしたことにより強弱などをつけて演奏したくなった ⑦変わりました ⑧このような事をするのは初めてだったからいい経験でした
26	ベートーヴェン	夢のワルツ	お花のワルツ	お花が揺れている感じ。お花畑で、風に揺られて	① I	④ワルツなので ⑤かわいい感じにしたかったから ⑥イメージを膨らませて弾くことが出来ました ⑦自分のイメージを作りながら弾くと、同じ曲でもいろいろな雰囲気になると思いました ⑧これからはイメージを持って弾きたいと思います
27	ベートーヴェン	夢のワルツ	野原の 天気	1～8小節目までは、野原の花や草が風で揺れているイメージです。9～16小節目は空が暗くなって、雨が強く降ってきて雷が鳴りそうなイメージです。17～24小節目は雨が弱くなって空が少しずつ明るくなっていくイメージです。33～41小節目はまたもとの野原にもどり花や草が風に揺れているイメージです。	①④⑨ II	④1曲の中でいろいろと曲の変化があるので、それぞれの場面にあったイメージを書きました。 ⑤絵が苦手なので、簡単な絵で書きました ⑥自分の書いたイメージに合わせて弾くようになりました。 ⑦イメージを作ると曲が弾きやすいことがわかりました ⑧楽譜にイメージの色や絵を書くだけで、その曲のイメージを目で見ながら弾くことができたので、弾きやすかったです。イメージに合った弾き方ができました

表2 分類表

【創作手法】

① 絵を描く(カラー)	17名
② 絵を描く(単色・黒)	3名
③ 絵を描く(単色・カラー)	0名
④ 色を塗る	12名
⑤ シールを張る	1名
⑥ 擬音語	2名
⑦ セリフ	1名
⑧ 文章を書く	5名
⑨ ストーリーを創る	8名
⑩ 歌詞をつける	0名

【作風】

I 曲全体を大きく一つに捉えてイメージを描いた楽譜	7名
II 曲の流れに沿ってイメージを描いた楽譜	20名



表3 実践後のアンケート

調査時期： 平成 22 年 5 月上旬  
 調査対象： 「音楽 I」ピアノ個人レッスンにおける筆者担当学生  
 27 名 回答率 100%  
 調査内容： 創作楽譜に関するアンケート

① ピアノを演奏する時に、曲に対するイメージを考えて取り組んだ事がありましたか？

	人数 (人)	比率 (%) 四捨五入
		27
はい	13	48%
いいえ	14	52%

② ①で「はい」と答えた方は、イメージを楽譜に書いた事がありましたか？

	人数 (人)	比率 (%) 四捨五入
		13
はい	2	15%
いいえ	11	85%

③ 今回の実践を通して、曲のイメージが膨らみましたか？

	人数 (人)	比率 (%) 四捨五入
		27
はい	27	100%
いいえ	0	0%

#### IV 考察

本実践は、入学時における学生の音楽経験が様々であったことから、初心者から上級者まで幅広いレベルに及んだ。しかし、音楽経験の有無による影響は見られず、自由な発想が盛り込まれた創作楽譜が出来上がった。

ピアノの導入教材の中には、音が 2 音 (例:ド,レ) のみで構成されている楽曲もあり、中・上級者の教材のような曲の内容が重厚な楽曲と比較すると、イメージーションが狭まってしまうのではないかと懸念された部分もあったが、それらには全く問題はなく、ピアノ初心者が生き生きと楽しみながら楽譜制作を行っている姿は印象的なものであった。

そして、創作手法においては、前回の実践には

見られなかった新しいアイデア（シールを張るなど）もあり、今後もさらに学生の創作に対するイメージーションの範囲は広がっていくのではないかと受け取ることができる。

学生が仕上げた創作楽譜は、前回の実践と同様、一つひとつの作品がバラエティーに富んだ作品となった。学生たちは豊かな創造力や思考力を持っており、その発想や表現意欲は無限大であることを痛感させられた。

「創作楽譜に関するアンケート」より、ほぼ全ての学生から「楽しかった!」という調査結果を得た。入学時においては、初心者が多くピアノ演奏に対して不安を抱えている学生も多い中、創作楽譜の実践をとおしてピアノ演奏の楽しさを体験することになった。そして、学生の不安要素を取り除く

ことが出来たように感じている。学生が楽しみながらピアノ学習を進めることにより、習得率も高くなるのではないかと考える。

また、楽曲をイメージして楽譜にイラストや言葉を書くという発想が、今までなかったという学生が大半を占めた。初心者であっても「楽曲にイメージを持つ、そのイメージを音で表現する。」ということを考えながらピアノに向かってほしいと熱望しており、今回の実践で学習した内容は、音楽を表現するための手法の一つとして、今後の学習にも役立つものであると考える。入学直後の早い段階で創作楽譜の実践を行ったことは、有為であったと感じられる。

学生が何も考えずただ演奏するのではなく、楽曲の音符一つひとつにイメージを持つようになり、想像しながらピアノを弾くことが出来るようになったという意見も多く見られた。このような「感性」は、教員・保育者のみならず指導者と呼ばれる者にとって必要不可欠な要因であると言えよう。これらのことから、早期段階での創作楽譜の制作・実践を行ったことは、大変有為であったと感じている。

さらに、楽譜に創作することによって、ピアノの技術だけではなくイメージによる弾きやすさを感じた学生が多く見られた。イメージを色や絵で描くことにより視覚的にも理解しやすくなり、読譜の手助けとなっているのであろう。特に、楽譜を読むことに慣れていない初心者にとっては、その創作によって音楽を見出す手がかりとなったであろう。

ピアノ経験者は、「スタッカートが多く明るい曲のように感じた。」など、楽譜上の発想記号をも考慮し、イメージ作りが出来ていた。また、「曲のイメージを考えたことにより、自分が演奏している曲を良く聴くようになった。」「音がどう響いているか、なめらかに聴こえているかなど、自分の弾いている曲（音）を耳を澄まして聴くようになった。」「気持ちを込めて弾くことで聴く人の心にも伝わるのではないか。」というようなピアノ演奏の表現力を高めるような気づきも見られた。

以上のように、今回の実践はピアノを初めて経験する学生から、長期に渡る経験者まで広範囲の学生に渡った。そのため、実践から得られたことは、学生の経験値によっても様々であったことは言う

までもない。

#### V今後の課題

今回の実践をとおして、初心者の学生の中で、ピアノ演奏が難しいと感じてしまい、ピアノ学習に対して臆病になってしまったという学生がいた。入学直後の段階でピアノに対して大きな不安を抱いていたところに、負担をかけ過ぎてしまうことになってしまったようである。このような学生に対して、どのように筆者自身が導いていけばよいか、今後さらなる研究の余地がある。

初心者の教材に関しては、楽曲としてシンプルな構造で出来ている。勿論、導入の段階で学べたことは多かったが、今後の学習過程において、難易度の高い楽曲であっても再度、創作活動を行うことにより、新たな気づきとモチベーションの高揚があるのではないかと感じている。

#### 参考文献

1. 『幼稚園教諭・保育士をめざす人のためのテキスト ピアノへのアプローチ 4 Steps』音楽之友社
2. 『ブルグミュラー 25 の練習曲』全音楽譜出版社
3. 『ソナチネ集 1』全音楽譜出版社



創作楽譜 5 春風

15.

★ Moderato (モデラート) 中ぐらいの速さで。

創作楽譜 15 春

同じ重音がつづく時は、とくに手首をやわらかくして下さい。

**Allegretto**

78.

*f* *dolce* *f*

*legato* *dolce*

*dolce* *f* *p*

★ (左手の二音は付点四分音符の長さを正しくひいて下さい。)  
★★ (前の小節の嬰符の ♯ は、ここではききめがなく、ハ音をひきます。)

創作楽譜 17 お散歩ランラン

「お散歩  
ランラン」  
Allegretto  
かえるを見つけたよ〜  
うし牛も見つけたよ〜  
ヒヨコ見つけたよ

83. *mf* *cresc.* *f* *mf* *cresc.* *f* *dim.* *f*

みんな出合った  
お花みつけた  
夕日が沈んだ  
おうちへ帰る  
また遊ぼうね

みんなも一足寄った  
お花みつけた  
夕日が沈んだ  
おうちへ帰る  
また遊ぼうね

The image shows a handwritten musical score for a piece titled "お散歩ランラン" (Stroll Run Run). The score is written for piano and includes a variety of musical notations such as treble and bass clefs, notes, rests, and dynamic markings like *mf*, *cresc.*, *f*, *mf*, *dim.*, and *f*. The tempo is marked as "Allegretto". The score is heavily annotated with handwritten notes, including lyrics and instructions like "かえるを見つけたよ〜", "うし牛も見つけたよ〜", "ヒヨコ見つけたよ", "みんな出合った", "お花みつけた", "夕日が沈んだ", "おうちへ帰る", and "また遊ぼうね". There are also numerous small drawings and doodles scattered throughout the score, such as a frog, a cat, a bird, a bear, a bee, a butterfly, and a smiley face. The score is numbered "83." in the top left corner. The overall style is creative and childlike, reflecting the theme of a stroll in a park.

創作楽譜 24 バレエ

Handwritten annotations in Japanese:   
1. Top staff: "エーのいこはす"   
2. Third staff: "710710主部としてかかん" and "少しのうたをきこえ"   
3. Fourth staff: "少しのうた" and "少しのうたをきこえ"   
4. Fifth staff: "少しのうたをきこえ"   
5. Bottom staff: "少しのうた"   
Musical score for "Allegro" in 3/4 time, featuring piano and bass staves with various dynamics (f, p, cresc.) and fingerings.

創作楽譜 27 野原の天気

Handwritten annotations in Japanese:   
1. Top right staff: "少しのうた"   
Musical score for "Andante con grazia" in 3/4 time, featuring piano and bass staves with dynamics (p, cresc., ff, dolce) and artistic shading.